



「大理石門関水晶園」概念方案

株式会社 東京ランドスケープ研究所

小林治人（設景統括）・楊貴宝（設景統括補佐）
青島利浩（建設基盤計画）・小林新（環境評価）
羽田泰章（編集総括）

国際設景集団 中曽根敏和（建築）・長木清（建築）

片山正樹（建築）・森沙耶香（建築）
伊藤敏和（デザイン）・堀越千里（植栽）
山中達（ランドスケープ）・楊理亜（翻訳編集）

背景と計画の経緯

大地とかかわりのある開発業務において、視認できる「景」の良否が環境・人・文化の関係が望ましい姿で構築するための試金石とすることを強く意識した仕事である。

建築・土木・デザイン・環境など既存の職能間の壁を取り去ったフラットな形の専門家チームと国際基準の美意識を共有化していきながら、地域の人々の意識改善を心がけ、開発に向けて

思想やデザインの提案を行った。

ランドスケープ・造園職能の範囲を設景の概念で統括し、自然景勝地における開発行為において建築・土木主導だけではない時代であることを、地元人民政府・大手銀行など投資家に説くと共に、地域の人々の意識改善を心がけることで、投資家や地域の人々から共鳴を得ることに至った。

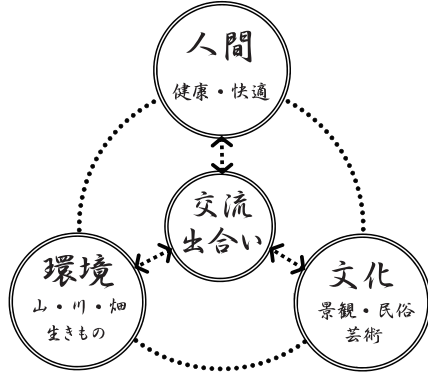
経済的に発展した中国においては、近時内陸に向けての社会資本整備事業が注目されている。巨大な中国国土の中で関心が高い雲南省大理市にある景勝地石門関を中心とした世界地質公園への観光客増大を予測した施設整備について、設景家小林治人の感性で事業の方向付けを依頼されたところから始まった。現場での発想を重視して計画作業中7回にわたりチームメンバーは現地調査を行い現場で協議を重ねていった。

作品の特色と提案概要

調査・計画にあたっては、豊富な水源や石材（大理石の産地）

作品概要

作品名——「大理石門関水晶園」概念方案
 事業対象地——大理蒼山漾濞県の景勝地である石門関地先
 発注——大理蒼山漾濞石門関旅遊開發有限責任公司
 事業目的——雲南省大理市の景勝地石門関を中心とした世界地質公園(2014年9月29日登録)への観光客増大を予測した施設整備について、設景の見地から概念方案を策定する事が目的である。
 事業体制——株式会社東京ランドスケープ研究所+国際設景集団
 事業期間——2014年4月25日～2015年1月15日
 事業規模——22.4 ha



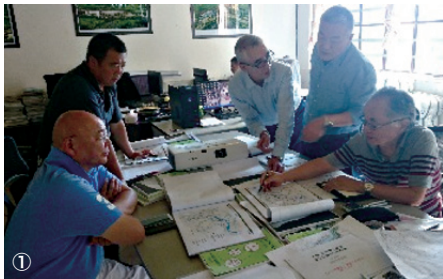
作品評

この作品は、中国雲南省大理市の景勝地「石門関」地区において、増大する観光客に対応するリゾート型の宿泊施設を計画したものである。しかし、その規模は広大で、南のシルクロードと云われる「茶馬古道」ゆかりの歴史施設を含めた歴史的町並み地区や高所得者層を対象とした保養施設地区、リゾート全体のセンターとなる地区等から構成されている。石門への景観と施設中央を流れる石門河への景観を活かした階段状の敷地造成、ならびに既存水路から利用できる水を随所に活用した全体の景観構成など、広大なスケールの中にきめ細かい計画が展開されている。

計画者の豊かな経験が、コラボレートメンバーの気持ちと考え方をまとめ、明快な目標のもとに成果をまとめて上げた点が特に評価され、特別賞となった。



①設景協議の様子 ②清流の水源 ③石門関と清流
 ④豊富な石材と清流 ⑤石門関



や土地の歴史、文化など、土地の持つ貴重な資源を把握し、計画に活かすことを心がけた。

現地調査や現場での協議を踏まえ、事業採算性、環境性、施工性、観光地としての魅力づくりなどを熟慮して事業の呼称について国際的観光地を前提とした「国際クリスタルリゾート」として次の9点に着目し計画の立案を行った。

- ①中国の社会的背景として、高齢化現象を迎えていることを意識した滞在型保養施設を計画した。
- ②地域の歴史的背景である茶葉古道は南回りシルクロードの一部であるところから道路幅を4mに抑え歴史をしのびながらショッピングなど楽しめる街並みとした。また、茶葉古道沿いの建物は、1階は食堂・商店を主体とし、2階は宿泊施設とした。
- ③植栽は標高1600m前後の場所ではあるが、比較的多様な種が利用できる。

- ④世界地質公園として世界遺産を申請している現場は巨大な岩が点在しているため建物の中に取り入れるなど工夫した。
- ⑤清冽な川の流れを庭園として位置づけて土本的な護岸など設置しないとしました。
- ⑥敷地の各ゾーンや建物からこの地区の特長である「石門関」への景観を確保できる計画とした。
- ⑦建物の壁と屋根の色については、基本的に地元少数民族の民家の黒と壁の白を採用し提案した。
- ⑧中国国内でも人気の高い「囲碁」に着目し、棋院を設置して国際大会ができるようにした。
- ⑨全体的に超高級な施設より広く一般人が利用しやすい施設レベルを計画した。
 今後は、設景家集団として土木・造園・河川・温泉などの構想作成を統括し、当該作業の後にも事業全体の総監督を務める計画である。